

進研7月記述模試 自己採点結果から

7月8日(日)に実施された、進研模試(7月記述)の自己採点集計結果を報告します。6月マーク模試では、比較的良好な結果を残しましたが、記述模試の手応えはどうでしたか? マーク模試ほどの正確な自己採点は難しいわけですが、解答・解説集を熟読しながら自己採点をすることにこそ(=しっかりと復習することにこそ)重要な意味があります。まだ提出していない人は、一刻も早く自己採点という名の復習をしてください。受けっ放しの模試に、意味はありません。

皆さんの自己採点結果を見ると、ハイレベルな記述模試への対応力はまだまだ力不足の人がほとんどです。マーク模試にはある程度対応できるようになってきたわけですから、学習の方向性が間違っているわけではありません。4月以降の模試結果等を踏まえて、各自の弱点克服をテーマにした学習計画を立て、この夏を乗り切りましょう。

次の学校参加の模試は、8月26日(日)実施の河合塾第2回全統記述模試です。さらに、9月15日(土)には第1回駿台ベネッセ共催模試(マーク式)が控えています。この夏の成果が試されます。目標にしてください。

◆表1: 教科目別 自己採点結果状況

	国語 (200)	数学X (200)	数学Y (200)	数学Z (200)	英語 (200)
平均点	73.7	85.9	93.6	65.1	82.2
提出者数	210	50	51	94	215
最低点	17	25	0	10	25
最高点	147	139	161	137	152

	世界史B (100)	日本史B (100)	地理B (100)	倫理政経 (100)	政治経済 (100)	現代社会 (100)
平均点	34.3	42.2	37.8	45.5	42.8	34.0
提出者数	41	42	107	33	14	21
最低点	9	16	0	22	30	16
最高点	73	72	72	71	58	53

	化学基礎 (50)	生物基礎 (50)	地学基礎 (50)	物理 (100)	化学 (100)	生物 (100)
平均点	26.0	30.9	23.5	43.4	40.4	48.3
提出者数	51	50	42	88	107	24
最低点	6	12	11	6	11	25
最高点	47	45	36	80	81	83

- *1. 教科目名の下()内の数値は「配点(満点)」。
- *2. 表中の数値は、7月13日(金)までの提出分で算出。
- *3. 校内受験者数が10名未満の科目(ex. 倫理、物理基礎)については割愛。

ベネッセのデータにみる合格の目安

皆さんは今年度だけでも、ベネッセコーポレーションが主催する「スタディーサポート」「進研模試」「駿台ベネッセ共催模試」を計6回受験します。次の表は、ベネッセのデータにみる主な国立大学群の合格の目安です。各自の目標設定等で参考にしてください。

◆表2: おもな大学群の合格の目安(文系・理系)

大学群	スタサポ	6月マーク (5教科得点率)	9月マーク (5教科得点率)	11月マーク (5教科得点率)	センター本番 (900点満点)
東京、京都	S1	78%・77% 英語・数学は9割	80%・79%	82%・79%	810 …90%
旧帝大 (北海道、東北 etc.)	S3	66%・65% 英語・数学は8割	68%・70%	68%・70%	720 …80%
埼玉	A3以上	55%・53% 英語は7割	56%・57% 国数英を 仕上げる	60%・58%	630 …70%
国公立大下限	B2	50%	55%	55%	560 …60%強

- *1. 各欄の目安となる数値は、ベネッセコーポレーションによる。
- *2. 「スタサポ」の欄の記号は、国数英3教科の学力到達ゾーン(GTZ)のもの。
- *3. 「センター本番」の900点満点とは5教科7(8)科目合計の950点満点を修正した数値。

夏休み中、獨協大学図書館で勉強できます!

河合塾の全統模試や大学入試センター試験の会場にもなる獨協大学(埼玉県草加市)の図書館が夏休み中(8/1~、9:00~20:00)高校生に開放されます(日曜・祝日、8/10~18は休館)。大学図書館には、高校までの図書室とは違った厳かな雰囲気があります。夏休みの一日を、そうした中で受験勉強に励むのもよいでしょう。いち早く“大学”を体感できるチャンスでもあります。「学習場所を探している」という人は参加してみたいかですか? 必ず高校の生徒証(身分証明書)を持参・提示のこと。詳細は、獨協大学のHPで確認してください。

夏休み学習成功のための10のコツ

- ① 勉強しやすい環境を整えること
- ② 苦手なところは先生に質問すること
- ③ 第一志望は保護者の方や友だちに堂々と伝え、応援してもらうこと
- ④ 志望校の入試科目・配点から、勉強のパワー配分を決めること
- ⑤ 今までの模試などから弱点を知り、学習計画に反映すること
- ⑥ 「次の模試」などの近くて具体的な目標を持つこと
- ⑦ 学習計画・スケジュールは、軌道修正のための余裕を持つこと
- ⑧ 遅くまで起きてやるより、朝早く起きてスッキリ頭で勉強すること
- ⑨ 集中できない場合は、勉強場所など環境を変えてみる
- ⑩ 気分転換を上手に行うこと